

第4章 保健福祉課

保 健 福 祉 課 業 務

専門的なサービスの提供や医療・福祉の援護を行い、保健福祉サービスの向上と円滑な推進に努めました。

1 母子保健

地域における母子保健事業の円滑な推進を図るため、関係機関で構成する母子保健委員会を開催しました。また、小児慢性特定疾病児等及び保護者を対象に、児の健やかな発育・発達を促進させ、併せて養育環境を整えることを目的に訪問や電話による個別相談、講演会等を実施しました。さらに、児童虐待の予防のために、地域の関係機関と連携体制を構築する妊娠期からの児童虐待予防事業を実施しました。

2 健康増進・がん対策

がん検診受診率向上のため、管内市町や職域と協働して、地域のニーズや課題に応じた健康教育や普及啓発等を実施しました。また、健康寿命の延伸及び健康格差の縮小を目指し市町の健康増進事業や糖尿病重症化予防事業等の効果的な事業展開への支援を行いました。

3 栄養・食生活対策

地域食生活対策推進協議会を開催し、地域における栄養改善活動の推進を図るため、食生活支援体制づくりについて協議しました。

また、健康増進法に基づき特定給食施設に対する個別及び集団指導の実施や、栄養表示等の普及啓発及び活用推進に向け、普及啓発講習会や事業者に対して相談・指導を行いました。

4 歯科保健

「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例」に基づき、地域における関連事業の効果的かつ円滑な推進を図るため、歯及び口腔の健康づくり推進委員会を開催し、管内関係機関等と情報を共有しました。併せて、地域の基盤づくりとして、ボランティアの育成支援を行うオーラルフレイル健口推進員（8020運動推進員）養成事業を実施しました。

また、専門的かつ技術的な事業として、重度う蝕児の減少を目的とした事業、障害児者や在宅療養者等を対象にした事業、歯周病予防のための事業を実施しました。

5 地域福祉

地域の福祉的課題に対応するため、民生委員・児童委員への負担金の交付、障害福祉相談員への研修、バリアフリーの街づくり普及啓発事業など、地域福祉の推進に向けた取組を行いました。

6 介護保険

介護保険指定事業者等に対する運営指導及び介護保険に関する苦情・相談対応等を行いました。

7 生活福祉

葉山町を所管する福祉事務所として、生活保護法・児童福祉法・母子及び父子並びに寡婦福祉法に定められている援護等を行いました。

また、「特別児童扶養手当等の支給に関する法律」に基づき、特別障害者手当等の支給事務を行いました。

8 福祉統計

生活保護の被保護世帯数・人員など生活福祉等に係る統計調査業務を実施しました。

1 母子保健

(1) 性と健康の相談センター事業

ア 性と健康の相談

ライフステージに応じた、性と生殖や妊娠・出産に関する、一般相談及び専門相談を行いました。

区分	相談方法			相談者			相談内容（延べ数）																			
	電話	面接	その他	本 人	そ の 他	計	性 性	思 春 期	避 妊	妊 娠	産 後	不 妊 ・ 不 育	流 産 ・ 死 産	出 産 前 診	い ず れ も な い	暴 力 性	D V ・ ケ ガ	メ ン タ ル	性 感 染 症	婦 人 科 疾 患	泌 尿 器 科	更 年 期 障 害	家 族 関 係	友 人 関 係	学 校 と の 関 係	そ の 他
一般相談 （随時）	46	0	0	46	42	4	46	12	6	0	2	3	1	1	2	0	3	13	0	6	0	5	6	0	0	4
専門相談 （13回開設）	6	23	0	29	25	4	29	3	0	0	1	-	0	-	-	-	-	19	0	3	0	3	-	-	-	8

事後指導（延べ数）						
助 言 指 導	専 門 相 談	電 話 継 続	訪 問 継 続	医 療 機 関 紹 介	他 機 関 紹 介	そ の 他 計
25	12	0	0	3	6	0
26	0	0	0	2	0	1

イ 健康教育

月 日	場 所	対 象	内 容	参加者数
6月18日	鎌倉女子大学高等部	高校3年生	あなたにとって大切なこと	128
7月10日	藤沢支援学校鎌倉分教室	高校1～3年生	あなたにとって大切なこと～気持ち～	36
7月11日	神奈川県立七里ガ浜高等学校	高校1年生	あなたにとって大切なこと	371
9月24日	鎌倉支援学校金井分教室	高校1～3年生	みんなに知って欲しいカラダとココロ	29
11月15日	鎌倉市立第一中学校	中学2年生	あなたにとって大切なこと	56
12月20日	藤沢支援学校鎌倉分教室	高校1～3年生	あなたにとって大切なこと～体・妊娠・出産～	36
2月5日	藤沢支援学校鎌倉分教室	高校1～3年生	あなたにとって大切なこと～性行為～	36
2月26日	鎌倉市立第二中学校	中学3年生	楽しい人生を送るために大切なこと	53
3月6日	鎌倉市立第一中学校	中学3年生	あなたにとって大切なこと	55

ウ 思春期保健研修会

各学校や市町・当所が、妊娠・出産等に関する正しい知識の普及のために、健康教育の実施状況や、学校の課題を共有し、思春期教育を実施する上でのヒントを得ることを目的に研修会を開催しました。

月 日	場 所	内 容	講師	参加者数
12月13日	鎌倉保健福祉事務所	「今どきの思春期の性と生」	産婦人科医師 早乙女 智子 氏	15

エ 妊娠・不妊に関する正しい知識の普及啓発

月 日	場 所	対 象	内 容	参加者数
11月2日 ～11月3日	鎌倉女子大学 みどり祭	鎌倉女子 大学学生等	・胎児人形の展示と抱っこ体験 ・妊婦体験 ・プレコンチェックシートの配布 ・健康相談 ・参加者アンケート「プレコンセプションケアについて分かりましたか」（回答者127名）	377

(2) 予期しない妊娠等に関する相談事業（妊娠SOSかながわ普及啓発）

R6年度は実施せず、実施主体は健康増進課

配布先	大学・専門学校	行政機関	交通機関	飲食店	コンビニ	商業施設	所内	計	配布数	カード	ポスター
施設数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(3) 小児医療支援

ア 小児慢性特定疾病医療費助成

児童福祉法に基づき、対象疾病に罹患し厚生労働大臣が定める疾病の基準を満たすと認められた18歳未満の児童（18歳到達時点で認定されており、かつ、その後も引き続き治療が必要と認められる場合には20歳未満まで更新可能）に対し、小児慢性特定疾病医療費助成事務を行いました。

疾病	悪 性 新 生 物	慢 性 腎 疾 患	慢 性 呼 吸 器 疾 患	慢 性 心 疾 患	内 分 泌 疾 患	膠 原 病	糖 尿 病	先 天 性 代 謝 異 常	血 液 疾 患	免 疫 疾 患	神 経 筋 疾 患	慢 性 消 化 器 疾 患	染色体または遺伝子に変化を伴う症候群	皮 膚 疾 患	骨 系 統 疾 患	脈 管 系 疾 患	計 (人)
市町村																	
鎌倉市	17	10	4	15	11	6	6	5	3	0	12	9	3	4	2	0	107
逗子市	5	2	0	4	3	0	4	0	0	0	7	5	2	0	0	0	32
葉山町	2	1	0	5	3	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	15
計	24	13	4	24	17	6	10	6	3	0	20	16	5	4	2	0	154

イ 療育医療給付

長期療育を必要とする18歳未満の結核児童に対し、指定療育機関に入院させ、適正な医療を行うとともに、併せて学校教育を受けさせ、心身両面にわたる健全な育成を図ることを目的とし、給付を行っています。

令和6年度申請なし

(4) 妊娠期からの児童虐待予防支援事業

児童虐待予防に関わる職員が、必要な専門的知識や複雑かつ多重に絡み合う課題の整理、アセスメント力の習得等、職員のスキルアップを目的に、事例検討会を行いました。

事例検討会

月 日	場 所	内 容	講 師	参加者数
7月30日	逗子市役所	～あなたのスキル、あなたの個性はきっと役立つ！～事例検討会「長期里帰り中の精神的に不安定な母への支援について」	公認心理師 田中 貴世 氏	7

(5) 養育支援事業

ア 訪問指導

	小児慢性疾病	その他	計
実人数	13	0	13
延人数	34	0	34

イ 所内指導(電話・面接・文書等)

	小児慢性疾病	その他	計
実人数	83	4	87
延人数	283	12	295

ウ 集団指導

疾病等により、長期にわたり療養を必要とする児童に対し、適切な養育を確保し日常生活における健康の保持増進を図るため相談や講演会・交流会を行いました。

(ア) ダウン症児等の親子の会(さくらんぼの会)

月 日	場 所	内 容	講 師	参加者数
8月23日	鎌倉保健福祉事務所	「弁護士と子どもの未来を考えよう ～社会保険・成年後見制度～」	みなと横浜法律事務所 あしがら成年後見センター 所長兼務 弁護士 内嶋 順一氏	42
1月23日	虹の子作業所・虹の子ハウス グーラッシューズ	「GOTO!!グループホーム・作業所見学ツアー」	虹の子作業所 所長 山口 礼子氏、 成人当事者	11

(イ) 医療的ケア児等の交流会

月 日	場 所	内 容	講 師	参加者数
11月14日	鎌倉保健福祉事務所	医療的ケア等の必要なお子さんと保護者の交流会	なし	7
2月19日	逗子市保健センター	医療的ケア等の必要なお子さんと保護者の交流会	なし	8

(ウ) 小児慢性特定疾病講演会

月 日	場 所	内 容	講 師	参加者数
8月26日	鎌倉保健福祉事務所	「1型糖尿病と集団生活～子どもが充実した集団生活を送るために～」	社会福祉法人聖テレジア会 鎌倉療育医療センター 小さき花の園 診療部長 医師 布川 香織 氏	34

(6) 保健福祉サービス連携調整会議（母子保健委員会・部会）

管内の母子保健事業が円滑かつ効果的な推進をはかるため、母子保健委員会を開催しました。また、「小児慢性特定疾病児等の支援」と「妊娠期からの児童虐待予防」について、管内での取組みの推進を図るため部会を開催しました。

ア 母子保健委員会

月 日	内 容	参加者数
2月5日	1 妊娠期からの児童虐待予防のための取組について 2 性と健康の相談センター事業について 3 小児慢性特定疾病児等の支援について 4 その他	12

イ 部会

月 日	内 容	参加者数
10月16日	1 関係機関における医療的ケア児等慢性疾患児への支援について 2 医療的ケア児等の災害時支援について 3 その他	15
12月11日	1 妊娠期からの切れ目ない支援について 2 精神症状のある妊産婦の支援について 3 その他	12

ウ 管内母子保健事業連絡会

月 日	内 容	参加者数
5月30日	1 令和6年度母子保健事業の新規・重点事業について 2 母子保健事業に関する情報交換 3 その他	14

2 健康増進・がん対策

(1) がん検診普及啓発セミナー

地域の実情に合わせたがん検診受診率の向上を目指すため、管内市町や民間企業等と協働し、地域のニーズや実情に応じた「がん検診普及啓発セミナー」を実施しました。

月 日	内 容	場 所	参加者数
10月30日	逗葉医師会、逗子市、葉山町と共催 「がん予防講演会（乳がんをテーマに医師・ピアサポーターの講演）」 ・体験ブース（大腸がん検診モデル体験コーナー） ・リーフレット配布	逗子市保健センター	25

(2) 地域企業におけるがん検診受診促進事業

地域企業、事業所等におけるがん検診受診普及啓発に関するリーフレットの配布、講演を実施し、がん検診の受診普及啓発、受診率の向上に努めました。

ア. がん検診受診普及啓発に関するリーフレットの配布

月 日	対 象	配布数
5月	鎌倉商工会議所の協力の下、会報への同封を依頼し、郵送	2,100
6月	逗子市商工会の協力の下、健康診断対象者への通知文との同封を依頼し、郵送	1,300
6月19日	産業保健連絡会（神奈川労務安全衛生協会横須賀支部）	20
9月	商工会健診会場（鎌倉商工会、逗子市商工会）	5
10月30日	逗葉がん予防講演会	54
11月2日 11月3日	鎌倉女子大学学園祭「みどり祭」	377
通年	管内運営指導対象の介護保険指定事業所	55
通年	食品衛生責任者講習会の参加者	123

イ. がん検診受診普及啓発に関する保健師による講演

月 日	内 容	場 所	参加者数
通年	食品衛生責任者講習会（5回）	当所	123

(3) 健康増進事業等評価

管内市町の実施する健康増進事業・糖尿病重症化予防事業についてヒアリング及び情報交換会を行い、市町が地域特性を踏まえて円滑かつ効果的に実施できるよう情報提供、情報共有をし、地域の健康課題把握に努めました。

日 時	内 容	場 所	出席者	参加者数
7月8日	令和6年度健康増進事業の自己評価結果及び糖尿病重症化予防事業等に関する個別ヒアリング	鎌倉市役所	鎌倉市市民健康課・保険年金課、当所保健福祉課	4
7月9日		逗子市役所	逗子市国保健康課、当所保健福祉課	5
7月19日		葉山町役場	葉山町町民健康課、当所保健福祉課	4
8月28日	令和6年度健康増進事業・糖尿病重症化予防事業担当者情報交換会	当所	鎌倉市市民健康課・保険年金課、逗子市国保健康課、葉山町町民健康課、三浦市健康づくり課、神奈川県国民健康保険団体連合会、神奈川県後期高齢者医療広域連合、神奈川県医療保険課、鎌倉保健福祉事務所三崎センター、当所保健福祉課	18

(4) 保健医療データ活用事業（地区別研修会）

管内市町が地域課題を明確にし、効果的な事業計画立案、事業評価等の実施を目的に、保健医療データの活用に関する地区別研修会を実施しました。

月 日	場 所	内 容	講 師	参加者数
10月7日	鎌倉保健福祉事務所	1 データ分析演習に向けたエクセル操作確認、演習 2 講義 事業の計画立案・評価のためにデータ利活用の基本の考え方 3 事業計画立案・評価に向けたデータ活用事例の紹介 4 分析データの概要の説明 5 講義 データ活用と見せ方	公立大学法人神奈川県立保健福祉大学イノベーション政策研究センター 副センター長 渡邊 亮 氏 特任研究員 岩根 泰蔵 氏 研究員 熊澤 大輔 氏	14

(5) 糖尿病重症化予防事業市町村支援

市町の実施する糖尿病重症化予防事業等の効果的・効率的な事業を支援するため、研修会を開催しました。

月 日	場 所	内 容	講 師	参加者数
12月18日	逗子市保健センター	講義 糖尿病や糖尿病性腎症の最新の知識、指導方法のポイント等について	高井内科クリニック 院長 高井 昌彦 氏	13

(6) 熱中症関連普及啓発

管内事業所における熱中症予防普及啓発に関するリーフレットの配布や所内での健康教育を実施しました。

ア. 熱中症予防普及啓発に関するリーフレットの配布

月 日	対 象	配布数
7月～9月	管内運営指導対象の介護保険指定事業所	21

イ. 熱中症予防に関する保健師による健康教育

月 日	内 容	場 所	参加者数
6月25日	当所衛生委員会の中で希望職員を対象に、熱中症対策をテーマとして実施	当所	10

(1) 特定給食等指導事業（昭和27年度～）

ア 給食施設個別指導

対象の施設に対し、個別指導、助言を計166回実施しました。

		管理栄養士のみのいる施設		管理栄養士・栄養士どちらもいる施設		栄養士のみのいる施設		管理栄養士・栄養士どちらもいない施設	
		施設数	指導件数	施設数	指導件数	施設数	指導件数	施設数	指導件数
指定施設①	学 校	0	0	0	0	0	0	0	0
	病 院	0	0	1	1	0	0	0	0
	介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	児童福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	事 業 所	1	1	1	2	0	0	0	0
	寄 宿 舎	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	1	2	3	0	0	0	0
1 回 指定施設①を除く 1 日 300食以上又は 750食以上	学 校	17	17	5	5	6	6	0	0
	病 院	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	児童福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	事 業 所	0	0	1	1	0	0	0	0
	寄 宿 舎	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	17	17	6	6	6	6	0	0
1 回 ①②を除く 日 100食以上又は 250食以上	学 校	2	2	4	4	1	1	2	2
	病 院	1	1	6	6	0	0	0	0
	介護老人保健施設	1	1	3	3	0	0	0	0
	介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	4	4	8	9	2	2	0	0
	児童福祉施設	1	1	16	16	4	4	3	3
	社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	事 業 所	2	2	0	0	0	0	1	1
	寄 宿 舎	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	7	7
	計	11	11	37	38	7	7	13	13
その他の給食施設	学 校	0	0	0	0	0	0	0	0
	病 院	5	5	2	2	0	0	0	0
	介護老人保健施設	2	2	1	1	0	0	0	0
	介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	4	5	1	1	0	0	0	0
	児童福祉施設	3	3	11	11	3	3	3	3
	社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	6	6
	事 業 所	1	1	2	1	0	0	4	4
	寄 宿 舎	0	0	0	0	0	0	1	1
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	15	15
	計	15	16	17	16	3	3	29	29

—33—

イ 特定給食施設等講習会

対象	月 日	内 容	参加施設数	実施方法
種別	8月26日	演題 「かながわ健康プラン21（第3次）について・栄養管理報告書の書き方」 講師 当所 保健福祉課 栄養士	15	集合
種別	9月11日	演題 「教育・保育施設等における、給食時の窒息事故防止について」 講師 緑園こどもクリニック院長・NPO法人Safe Kids Japan理事長 山中 龍宏 氏 ※食育推進研修（地域保健活動推進研修）を兼ねる	30	集合・オンライン
全体	2月4日～ 3月7日 (オンデマンド配信)	演題 「日本人の食事摂取基準2025年版改訂のポイントと給食施設における活用上の留意点」 講師 女子栄養大学栄養学部教授 上西 一弘氏 ※健康増進課、全保健福祉事務所・センター合同開催	102	オンライン

ウ 栄養改善普及運動（平成29年度～）

「かながわ健康プラン21（第2次）」における栄養・食生活の目標のうち、食生活の基本である「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加」を推進するため、「主食・主菜・副菜を揃えた食事」をテーマとして、事業所との連携による従業員の健康づくりを目的に健康情報の提供を行いました。

月 日	内 容	参加施設数
7月12日	主食・主菜・副菜をそろえた食事の普及・啓発 ① 栄養士会提供の冊子配布及び協賛品（キウイフルーツ）提供 ② 講話「食生活と健康」の実施 ③ アンケート調査の実施	1
8月23日	＜全施設対象の取組み＞ 事業所の健康づくり担当者に、ポスター掲示の依頼と啓発グッズを配付	16

(2) 栄養・食生活の企画・運営

ア 地域食生活対策推進協議会（平成元年度～）

地域における栄養・食生活課題の解決に向けた施策の推進と、関係者の連携による地域特性に応じた事業展開を図るため、「地域食生活対策推進協議会」を開催しました。

月 日	内 容	委員構成	参加者数
12月26日	テーマ「地域における高齢者の食生活支援体制づくり～食を通じた社会参加～」 (1) 高齢者の共食の現状について (2) 今後の取組みについて	医師会、学識経験者、地域包（食生活改善推進団体、社会福祉協議会）、市町健康主管課栄養士、当所保健福祉部長	8

イ 国民健康・栄養調査（昭和20年度～）

健康増進法に基づき、国民の健康増進の総合的な推進を図るために必要なデータを収集し、国民の健康状況、栄養摂取状況及び生活習慣の状態を明らかにする。

*令和6年度該当なし

(3) 地域・医療・福祉・介護領域と連携した栄養・食生活支援体制づくり

地域の社会資源を活用し、栄養・食生活改善活動を包括的に推進するために、医療・福祉・介護関連施設等と連携し、地域の関係機関や団体それぞれが実施する食生活・健康増進対策の取組みを支援しました。

ア 市町村に対する企画・技術支援

(ア) 管内行政栄養士連絡会

地域における栄養・食生活対策の効果的な推進を図り、管内市町栄養士同士の業務の情報共有及び相互理解、連携強化等を目的に管内行政栄養士連絡会を開催しました。

月 日	内 容
7月1日	・令和6年度行政栄養士業務連絡会について ・災害時の栄養・食生活対策について ・「かながわ健康プラン21（第3次）」について
10月10日	県健康増進課主催 行政栄養士研修会（報告・講演・グループワーク）に参加 ・これからの災害時栄養・食生活支援体制について
10月16日	・災害時の栄養・食生活対策について ・ヒアリングシートについて
3月3日	・災害時の栄養・食生活対策について ・ヒアリングシートについて ・行政栄養士業務連絡会の次年度計画について

(イ) 企画・業務支援

市町名	内 容	回数
鎌倉市	鎌倉市食育推進会議への出席	2
逗子市	逗子市健康増進・食育推進計画懇話会への出席	2
逗子市・葉山町	逗子市・葉山町合同食生活改善推進員養成講座での講義	1

イ 食育推進研修（地域保健活動推進研修）

月 日	内 容	講 師	参加者数
9月11日	「教育・保育施設等における、給食時の窒息事故防止について」 ※特定給食施設等講習会を兼ねる	緑園こどもクリニック医院 長・NPO法人 Safe Kids Japan理事長 山中 龍宏 氏	7

ウ 各領域と連携した栄養・食生活対策推進事業

地域特性に応じた食環境づくりを推進するため、関係機関・団体と連携してその取組みを支援し、地域における栄養・食生活対策の推進を図りました。

区 分	事業名・教室名	内 容	対 象	連携した機関・団体等名	集団指導	
					延回数	延人数
高齢者	管内高齢者施設と連携した健康教育	講話：栄養成分表示について	施設職員・救命救急士	管内高齢者施設消防署	1	27
高齢者	地域と連携した健康教育	講話：フレイル予防と栄養について	町内会会員（高齢者対象）	食生活改善推進団体	1	23
高校生	学校での健康づくり応援事業	講話：食生活と栄養	学生・教員	管内私立高校	1	123

エ 地域や職域等の人材育成

（ア）食生活改善推進団体の育成

地域の健康づくりの推進役として、食生活改善推進団体の活動が円滑に行われるよう育成指導を行いました。

内 容	回 数	延人数
役員会及び三支部合同スキルアップセミナー	11	78

（イ）管理栄養士課程の臨地実習

管理栄養士養成施設の学生に対し、公衆衛生分野の臨地実習を行いました。

学 校	学生数	期 間
神奈川県立福祉大学	3	5月20日～5月24日
鎌倉女子大学	3	6月17日～6月21日
相模女子大学	2	2月25日～2月28日
関東学院大学	2	2月3日～2月7日
合 計	10	4校4コース

（ウ）その他の地域人材の育成

その他地域で活動する人材の育成指導を行いました。

内 容	回 数	延人数
逗子市社協フレンドリーヘルパー研修	1	23

(4) 専門的栄養指導・食生活支援事業（平成6年度～）

慢性疾患及び難病等や、個別性の高い長期療養者の生活の質を高めることを目指し、対象者及びその家族等に対し、個々に対応した栄養指導や食生活支援を行いました。
また、地域での食生活支援者に対して研修会を開催しました。

ア 個別栄養指導

疾 病 別	実人員	延人員	(再掲) 訪問
糖 尿 病 合 併 症			
脂質異常症・肥満合併症	1	1	
腎 臓 疾 患			
難 病			
精 神 保 健	1	2	
高 齢 者 の 低 栄 養			
ハ イ リ ス ク 児			
食 物 ア レ ル ギ ー			
そ の 他	1	1	
計	3	4	

イ 食生活支援担当者等研修会

月 日	対 象	内 容	参加者数
2月26日	管内の高齢者対象の特定給食施設及び小規模特定給食施設の管理栄養士・栄養士等従事者（・病院・介護老人保健施設・老人福祉施設・社会福祉施設・有料老人ホーム等） 市町行政栄養士	講演「トクホと機能性表示食品～正しく理解し、適切に活用しよう～」 講師 消費生活コンサルタント 森田満樹 氏	26

(5) 栄養表示等普及啓発及び活用推進事業（平成8年度～）

食品表示法に基づく食品表示基準制度、健康増進法に基づく特別用途食品の普及啓発と活用促進及び同法に基づく食品の健保持増進効果に関する虚偽・誇大表示等の禁止に係る普及啓発を図るため、講習会及び個別相談等を実施しました。

ア 普及啓発講習会

対 象 / 区 分	回 数	参加者数	内 容
事 業 者	10	267	食品衛生責任者講習会等
消 費 者	3	56	食生活改善推進員養成講座
合 計	13	323	

イ 事業者に対する表示適正化指導（食品表示法）

区分 内容		食品表示法							合計
		栄養表示			栄養機能食品		機能性表示食品		
		加工食品	生鮮食品	添加物	加工食品	生鮮食品	加工食品	生鮮食品	
事前相談・指導	件数	12	-	-	-	-	-	-	12
	延回数	14	-	-	-	-	-	-	14
適正化指導	件数	3	-	-	-	-	-	-	3
	延回数	6	-	-	-	-	-	-	6
	改善確認	3	-	-	-	-	-	-	3

ウ 事業者に対する表示適正化指導（健康増進法）

区 分 / 内 容		健康増進法			合 計
		特別用途食品	栄養表示基準	虚偽誇大表示	
事前相談・指導	件数	-	-	1	1
	延回数	-	-	1	1
適正化指導	件数	-	-	-	-
	延回数	-	-	-	-
	改善確認	-	-	-	-

4 歯科保健

(1) 保健福祉サービス連携調整会議（歯及び口腔の健康づくり推進委員会）

神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例に基づき、管内における歯及び口腔の健康づくりに関する事業の効果的かつ円滑な推進を図ることを目的に開催しました。

月 日	内 容	参加者数
1月16日	1 神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進計画（第2次）の目標及び指標に対する管内の取組みについて 2 妊婦歯科健康診査の現状と今後について 3 その他	委 員 13 事務局 4

(2) 重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業

市町の乳幼児教室や歯科健診と連携し、重度むし歯のリスク要因を有する幼児を早期に把握し、継続的な歯科検診、保健指導、フッ化物塗布等を実施しました。

実施回数	受診者数			予 防 処 置 件 数			初診者の把握経路			
	初 診	再 診	計	フッ化物	フッ化 ジア ミン銀	計	1.6歳児	2歳児	その他	計
42	27	67	94	84	4	88	15	9	3	27

(3) 障害児者等歯科保健事業

「歯っぴいスマイル相談」では、心身に障害をもつ方を対象に歯科検診・摂食嚥下指導等を行いました。その他、障害者施設及び事業所等での歯科保健指導を行いました。

ア 歯っぴいスマイル相談（個別）

市 町 名※	実施回数	受診者数		内容（延人数）			
		実人数	延人数	口腔内 診査	歯科 保健指導	予防処置	摂食指導
鎌 倉 市	8	4	8	8	8	6	1
逗 子 市	3	2	3	3	3	4	0
葉 山 町	1	1	1	1	1	0	0
計	12	7	12	12	12	10	1

※受診者の居住地

イ その他（集団）

対象	回数	参加者数	内容
在宅障害者歯科検診等事業 （主催：鎌倉市歯科医師会）	5	24	歯科保健指導（歯みがき指導）

(4) 歯周病予防対策事業

ア 歯周病検診・指導

成人の歯周病予防対策の一環として、主に妊婦を対象に歯と歯ぐきの検診及び歯周病予防の歯みがき実習を行いました。

区分	回数	検診または指導者数内訳		
		妊婦	その他	計
個別	15	25	3	28
集団	0	0	0	0
総計	15	25	3	28

イ 歯間部清掃用具の活用推進

歯間部清掃用具の正しい使用方法等についての実技指導を行いました。

実施回数	参加者数
25	156

(5) 在宅療養者等訪問口腔ケア推進事業

在宅療養者等のＱＯＬ（生活の質）の向上をめざし、訪問による歯科検診、摂食嚥下指導等を行いました。

ア 訪問者数

実人数	延 人 数					計
	6歳以下	7～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上	
12	21	3	0	0	0	24

イ 市町別疾患別状況（実数）

区 分	慢性疾患児	その他	計
鎌倉市	2	4	6
逗子市	3	3	6
葉山町	0	0	0
計	5	7	12

ウ 内容（延人数）

口腔内診査	保健指導	予防処置	摂食指導	その他
21	24	9	15	0

(6) 歯の健康づくり事業

「健口かながわ5か条」の普及（リーフレットの配布・説明）を行いました。

普及対象	母子	学童・生徒	成人	高齢者	その他	不特定多数	計
普及人数	26	10	268	45	65	677	1,091

(7) オーラルフレイル健口推進員（8020運動推進員）養成事業

健口体操（お口の体操）等の普及啓発活動等、歯及び口腔の健康づくりを自主的に実施するボランティア（オーラルフレイル健口推進員）の育成・活動支援を行いました。

ア オーラルフレイル健口推進員数【健康増進課主催の養成研修修了者】

鎌倉市	逗子市	葉山町	計
3 (66)	0 (91)	7 (43)	10 (200)

() 内は累計数(平成23～令和6年度)

イ オーラルフレイル健口推進員育成研修

月日	内 容	参加者数
7月5日	1 オーラルフレイル健口推進員育成研修修了証の交付 2 情報提供 3 講演 楽しんで伝えよう！健口体操 ～プロから学ぶ体操のコツ～ 講師 当所歯科医師・歯科衛生士、健康運動指導士	推進員 7 聴講者 2
11月25日	テーマ やってみよう！健口体操 ～基本の動きを楽しくマスターしよう～ ・当所管内の推進員及び活動について ・お口の機能と変化（自己チェック） ・お口の健口体操（基礎編） 講師 当所歯科医師・歯科衛生士	推進員 1
1月22日	テーマ 測って学ぼう！お口の力 ～健口体操の応用と自己チェックで理解を深めよう～ ・基礎編の復習 ・お口の健口体操（応用編） ・お口の機能と変化（自己チェック） 講師 当所歯科医師・歯科衛生士	推進員 1

ウ 支援体制の整備等

月日	内 容
5月31日	活動時に配布するリーフレットの提供と助言
6月6日	逗子市お口の健康展での活動支援
6月10日	資料提供及び活動方法の助言
6月21日	資料提供及び活動方法の助言
9月18日	資料提供及び活動方法の助言
11月25日	活動支援
11月25日	活動方法の助言

(8) 災害時歯科口腔保健対応対策事業

災害時における地域の歯科口腔保健対応する体制づくりの促進を目的に、研修会及び担当者会議を実施しました。

月日	内容	参加者数
11月16日	1 研修会 演題 令和6年能登半島地震におけるJDATの被災地支援活動について 講師 一般社団法人 逗葉歯科医師会 副会長	24
	2 担当者会議 議題：災害時の歯科口腔保健対応策の進捗状況（共有） ・各所属から進捗状況の報告 ・他市町・歯科医師会へ質疑、意見交換	委員 5 事務局 4

(9) 歯科健康教育

管内の施設、団体等関係機関からの依頼を受けて、地域住民に対する歯科健康教育、情報提供を行いました。

実施回数	参加者数	内容件数（複数計上）				
		う蝕予防	歯周病予防	口腔機能発達支援	高齢者・療養者口腔ケア	その他
2	120	2	1	0	0	0

(10) 人材の育成

歯科保健に関する研修・講習会の企画及び講師を務める等で、歯科保健に係る人材への助言・指導等を行いました。

実施回数	参加者数
9	121

受講者内訳数							
歯科医師	歯科衛生士	保健師	栄養士	健康づくり団体	介護保険関係者	その他	市町村職員（再掲）
5	42	5	1	0	23	45	6

(11) その他

- ・電話相談（歯科関連）6件

5 地域福祉

(1) 民生委員・児童委員の活動

地域における福祉活動の中心的役割を担っている民生委員・児童委員の活動に対して、負担金を交付しました。

区分 市町名	定 数			相談件数	活動日数	訪問回数
	民生委員 児童委員	主任児童 委 員	計			
鎌倉市	206	20	226	3,851	33,471	29,261
逗子市	74	6	80	925	10,839	17,971
三浦市	83	7	90	1,555	11,154	8,480
葉山町	51	3	54	1,529	5,873	4,054
計	414	36	450	7,860	61,337	59,766

(2) 障害福祉相談員の研修

管内障害福祉相談員の相談対応能力の向上を目的とした研修会を実施しました。

月 日	場 所	内 容	講 師	参加者数
10月1日 ～10月31日	動画配信	「ともに生きる社会を支える意思決定支援」 ・第Ⅰ部～第Ⅲ部 意思決定の基本的内容 ・第Ⅳ部 事例 相談場面での気づき	学校法人和泉短期大学 児童福祉学科 教授 鈴木 敏彦 氏	6

(3) 地域福祉の人材育成

地域福祉の推進のため、各市町行政職員、市町社会福祉協議会職員等による圏域内地域福祉担当者会議を県地域福祉課と共催で開催しました。

月 日	場 所	内 容	参加者数
8月6日	当所	(1) 各市町及び各市町社会福祉協議会の事業等取組について ・令和6年度重点事業、取組 (2) 各市町及び各社会福祉協議会の取組の意見交換 (3) 神奈川県の実施状況 ・能登半島地震における県からの支援について (4) 在宅医療/地域包括ケアシステム事業について	16

(4) 成年後見制度普及啓発に関すること

鎌倉市主催の成年後見制度利用促進協議会に参加しました。

回 数	月 日	場 所	内 容	参 加 者 数
第1回	7月30日	鎌倉市福祉センター	・ 鎌倉市成年後見制度の利用促進について ・ 鎌倉市市民後見人養成の応募状況について ・ 今後の協議会のテーマについて	26
第2回	11月18日	鎌倉市福祉センター	・ 鎌倉市における成年後見制度の状況について ・ 預貯金の管理の仕組みについて ・ 報告書式変更について ・ 成年後見制度活用フローチャートの検証	24
第3回	3月18日	鎌倉市福祉センター	・ 令和6年度鎌倉市市民後見人養成について ・ 成年後見制度紹介チラシについて ・ 成年後見制度活用フローチャートの検証	29

(5) バリアフリーの街づくり普及啓発事業

管内の小学生やインターンシップ生に対し、バリアフリーに関する普及啓発を行いました。

ア バリアフリー教室

月 日	対 象	内 容	参 加 者 数
7月23日	管内小学校の学童を利用する小学生	演題 「知ろう！バリアフリー」 駅内にあるバリアフリーを例とし、バリアフリーの定義について説明。 講師 当所保健福祉課 保健師	18
8月7日	管内小学校の学童を利用する小学生	演題 「知ろう！バリアフリー」 駅内にあるバリアフリーを例とし、バリアフリーの定義について説明。 講師 当所保健福祉課 保健師	14
12月9日	鎌倉女子大学短期大学部学生	①演題「身近にあるバリアフリーについて」 ②介助犬・聴導犬について（講演と実演） 講師 ①当所 保健福祉課保健師 ②特定非営利活動法人 ウェルフェアポート 湘南 副理事長	110

イ インターンシップ生への普及啓発

月 日	対 象	内 容	参 加 者 数
8月19日	インターンシップ保健師、高校生	カラーバリアフリー等について	5
8月20日	インターンシップ福祉学生	カラーバリアフリー等について	3

(6) 横須賀・三浦障害保健福祉圏域自立支援協議会の支援

横須賀・三浦障害保健福祉圏域における相談支援等のネットワークの形成を通じて、重層的な相談支援体制を構築し、広域的かつ専門的な支援を行うことにより、障害者の福祉の増進を図る事業として県が委託している社会福祉法人「湘南の風」の活動を支援しております。

会 議 名	回数
横須賀・三浦障害保健福祉圏域自立支援協議会	1

(7) 管内市町等への支援

管内市町、社会福祉協議会及び団体が行う福祉事業について、委員会等の委員を受任し、参画しました。

ア 福祉の推進

会議等名称	回数
鎌倉市成年後見制度利用促進協議会	3
鎌倉市高齢者措置判定委員会	1
鎌倉市障害者支援協議会	3
逗子市自立支援会議 運営会議	1
逗子市自立支援会議専門会議（就労支援部門）	1
逗子市地域包括支援センター等運営協議会	3
逗子市障がい者差別解消支援地域連絡会	1
葉山町保健福祉サービス推進委員会	1
葉山町地域包括支援センター運営協議会	1
多職種連携会議（逗葉地域）	2

イ 計画策定・進行管理

会議等名称	回数
鎌倉高齢者保健福祉計画推進委員会	2
鎌倉介護保険運営協議会	3
逗子市高齢者保健福祉計画懇話会	1
葉山町地域福祉計画策定委員会	2
葉山町地域密着型サービス運営委員会	1
葉山町介護保険事業計画等運営委員会	1

6 介護保険

(1) 介護保険指定事業者指導等事業

管内に所在する介護保険指定事業者等に対し、運営指導を行いました。

ア 介護保険事業所運営指導件数

	鎌倉市	逗子市	三浦市	葉山町	計
1 指定訪問介護	9	6	3	2	20
2 指定訪問入浴介護	0	0	0	0	0
3 指定介護予防訪問入浴介護	0	0	0	0	0
4 指定訪問看護	4	3	3	0	10
5 指定介護予防訪問看護	4	3	1	0	8
6 指定訪問リハビリテーション	1	0	1	0	2
7 指定介護予防訪問リハビリテーション	0	0	1	0	1
8 指定通所介護	3	1	3	2	9
9 指定通所リハビリテーション	1	0	1	1	3
10 指定介護予防通所リハビリテーション	1	0	1	1	3
11 指定短期入所生活介護	4	1	2	1	8
12 指定短期入所生活介護(ユニット型)	0	1	1	0	2
13 指定介護予防短期入所生活介護	3	1	2	1	7
14 指定介護予防短期入所生活介護(ユニット型)	0	1	1	0	2
15 指定短期入所療養介護	1	0	1	1	3
16 指定短期入所療養介護(ユニット型)	0	0	0	1	1
17 指定介護予防短期入所療養介護	1	0	1	1	3
18 指定介護予防短期入所療養介護(ユニット型)	0	0	0	1	1
19 指定特定施設入居者生活介護	3	2	3	0	8
20 指定介護予防特定施設入居者生活介護	3	2	3	0	8
21 指定福祉用具貸与	1	1	0	0	2
22 指定介護予防福祉用具貸与	1	1	0	0	2
23 指定特定福祉用具販売	1	1	0	0	2
24 指定特定介護予防福祉用具販売	1	1	0	0	2
25 指定介護老人福祉施設	4	1	2	1	8
26 指定介護老人福祉施設(ユニット型)	0	1	1	0	2
27 介護老人保健施設	1	0	1	1	3
28 介護老人保健施設(ユニット型)	0	0	0	1	1
29 指定介護療養型医療施設	0	0	0	0	0
30 指定介護医療院	0	0	0	0	0
計	47	27	32	15	121

イ 介護保険指定事業者等指導講習会開催状況(※R5年度より高齢福祉課単独開催)

(2) 事業者運営指導担当者連絡会議

月 日	場 所	内 容	参加者数
5月10日	オンライン 会議	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度介護保険事業者等運営指導の方針 令和6年度介護保険指定事業者等運営指導計画書 地域密着型サービス事業者、居宅介護支援事業者、総合事業等の指定事業者に対する指導事務の実施状況等 高齢福祉課からの連絡事項 その他連絡事項等 	鎌倉市介護保険課、逗子市高齢介護課、三浦市高齢介護課、葉山町福祉課、鎌倉保健福祉事務所三崎センター保健福祉課、当所保健福祉課

7 生活福祉

(1) 生活保護業務

葉山町を所管する福祉事務所として、生活保護法に基づく保護を行い、その最低生活を保障するとともに自立を支援しました。

ア 扶助別被保護世帯数・人員

2025（令和7年）3月分

区分 町名	世帯数	総数	生活 扶助	住宅 扶助	教育 扶助	介護 扶助	医療 扶助	生業 扶助	出産 扶助	葬祭 扶助
葉山町	世帯数	106	92	84	2	30	87	1	0	4
	人 員	126	110	100	5	31	94	2	0	4

※出産扶助・葬祭扶助については令和6年度中の実績

イ 保護開始・廃止

<理由別開始世帯の状況>

2024（令和6）年度

区分 町名	傷世帯 主の病	傷世帯 員の病	扶 助 給 付	急 迫 保 護 で 医 療 給 付	要 介 護 状 態	者 の 死 亡	働 い て い た 等	働 い て い た 等	失 業 解 雇 等	収 入 の 減 少	老 年 に よ る 減 少	倒 産 ・ 業 不 振	事 業 の 減 少	入 所 の 減 少	年 金 等 の 減 少	貯 金 等 の 減 少	仕 送 り の 減 少	そ の 他	計
葉山町	6	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	9	1	2	19

<理由別廃止世帯の状況>

2024（令和6）年度

区分 町名	の世帯 治癒	の世帯 治癒	死 亡	失 踪	増 加	稼 働 入 入	働 き 手 入	年 金 加	増 加	仕 送 り	収 入 の 増	左 記 以 外 の 増	引 取 り	親 類 等	施 設 入 所	他 法 費 担	医 療 費 担	変 更	世 帯 構 成 の 反	指 導 指 示 違	逮 捕 ・ 留 等	そ の 他	計
葉山町	0	0	4	0	4	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	20

ウ 世帯類型別被保護世帯の状況

2025（令和7年）3月分

区分 町名	高齢者世帯	母子世帯	障害者世帯	傷病者世帯	その他の世帯	計
葉山町	66	0	18	10	12	106

エ 労働力類型別被保護世帯の状況

2025（令和7年）3月分

区分 町名	稼働世帯					非稼働 世帯	計
	世帯主が働いている世帯				世帯員 稼働		
	常用	日雇	内職	その他			
葉山町	8	0	5	5	2	86	106

オ 医療扶助の状況

2025（令和7年）3月分

（単位：人）

区分 町名	入 院			入 院 外			計
	精 神	そ の 他	小 計	精 神	そ の 他	小 計	
葉山町	0	1	1	4	89	93	94

カ 生活保護施設措置状況

2025（令和7年）3月分

区分 町名	救護施設	更生施設	計
葉山町	0	0	0

キ 保護の開始廃止件数の推移

年 度	2020年度 (令和2年)	2021年度 (令和3年)	2022年度 (令和4年)	2023年度 (令和5年)	2024年度 (令和6年)
開 始	14	23	22	23	15
廃 止	12	16	23	27	20

ク 保護世帯数等の推移(各年度3月)

年 度	2020年度 (令和2年)	2021年度 (令和3年)	2022年度 (令和4年)	2023年度 (令和5年)	2024年度 (令和6年)
世帯数	110	117	118	114	106
人 員	129	140	148	135	126
保護率 %	4.07	4.05	4.73	4.37	4.14

ケ 生活保護費の状況

(単位:円)

区分 町名	総 額	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	出産扶助	生業扶助	葬祭扶助
葉山町	121,685,308	71,211,320	46,186,396	629,448	0	472,365	922,000
		就労自立給付	進学準備給付	保護施設 事務費	委託事務費	介護扶助	医療扶助
		218,226	0	0	53,040	89,584	1,902,929

(注) 上記経費は当所において直接支出した扶助費ごとの額です。

(2) 特別障害者手当等の支給状況

特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、在宅の重度障害児者に対し、特別障害者手当等を支給しました。

(単位:人)

区分 町名	特別障害者手当等		
	障害児福祉手当	福祉手当(経過措置分)	特別障害者手当
葉山町	8	—	11

(3) 母子福祉資金等の貸付

母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づき、母子家庭等の経済的自立の助成、生活意欲の助長、児童の福祉の増進等のため、母子福祉資金、父子福祉資金及び寡婦福祉資金の貸付を行いました。

区分 市町名	事業 開始	事業 継続	技能 習得	就職 支度	住宅	転宅	医療 介護	生活	修学	就学 支度	修業	結婚	計
鎌倉市	母子	-	-	1	-	-	-	-	6	8	1	-	16
	父子	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
	寡婦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	-	-	1	-	-	-	-	7	8	1	-	17
逗子市	母子	-	-	-	-	1	-	-	2	2	-	-	5
	父子	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
	寡婦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	-	-	-	-	1	-	1	2	2	-	-	6
葉山町	母子	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
	父子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寡婦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
計	母子	-	-	1	-	1	-	-	9	10	1	-	22
	父子	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2
	寡婦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	1	-	1	-	1	10	10	1	-	24

(4) 母子・父子自立支援員の設置

福祉事務所に母子・父子自立支援員を設置し、母子家庭、父子家庭及び寡婦家庭の自立に必要な福祉資金の貸付をはじめとして、生活全般にわたる相談・援助を行いました。

＜相談援助実施状況（相談回数）＞

区分 市町名	生 活 一 般										計
	住 宅	医療 ・健康	家庭紛争		就 労	結 婚	養育費	借 金	その他	小 計	
			配偶 者等 の暴力	その他							
葉 山 町	16	38	21	9	114	0	22	4	65	289	

区分 市町名	児 童						小 計
	養 育	教 育	非 行	就 職	その他		
葉 山 町	3	6	0	0	0	9	

区分 市町名	経 済 的 支 援 ・ 生 活 援 護											小 計	
	母子福祉 資金		父子福祉 資金		寡婦福祉 資金		公 年 的 金	児 童 扶 養 手 当	生 活 保 護 税	その他			
	貸付	償還	貸付	償還	貸付	償還							
葉 山 町	30	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	42	

区分 市町名	そ の 他						小 計
	売 店	た ば こ 販 売	公営住宅	施設利用	母 子 生 活 支 援 施 設		
葉 山 町	0	0	6	0	1	7	

347

＜自立支援給付金事業の実施状況（給付件数）＞

自立支援教育訓練給付金	高等技能訓練促進費
1	3

(5) 関連する業務

女性支援法（困難な問題を抱える女性への支援に関する法律）及びDV防止法（配偶者からの暴力防止及び被害者の保護に関する法律）に基づき、女性相談支援センター、配偶者暴力相談支援センターと連携し、被害者の自立支援のために相談・援助を行いました。

年度	援助内容	面接	電話	一時保護
2020（令和2）年度		0	2	0
2021（令和3）年度		2	6	0
2022（令和4）年度		5	9	1
2023（令和5）年度		4	2	0
2024（令和6）年度		4	6	1

8 福祉統計

（福祉行政報告例）

対象年月	内 容
4月～3月	管内(葉山町)の生活保護法に係る状況、障害福祉手当等の認定状況、助産施設・母子生活支援施設在所者数他